

えがおのきずな ～地域に広がる交流の輪～

青森県立七戸養護学校 校長 小森 直樹

令和3年度の居住地校交流は、小学部20名(14校)、中学部4名(4校)で計24名の児童生徒が実施できました。新型コロナウイルス感染症の影響が心配されましたが、昨年度より10名多い実施人数でした。ご協力いただいた地域の小中学校をはじめ保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

この交流は、来年度から「青森県交流籍制度」の一環として実施されることとなります。「交流籍制度」は、より一層の交流及び共同学習を推進し、児童生徒が共に学ぶ機会を拡大し、相互理解の推進と共生社会の実現を目指すものです。

本校も、その実現に向けて地域や保護者の皆様と連携・協力しながら、これまで以上に活動の充実を図ります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

